

令和3年度 社会福祉法人慈照会事業報告

通常規模型通所介護事業
認知症対応型通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業

令和3年度社会福祉法人慈照会事業報告（案）

1. 総括

わが国経済は、新型コロナワクチン接種の進展、緊急事態宣言下の外出自粛などによる行動制限の結果、9月以降感染者が減少し経済回復の兆しが見えたが、年明けからのオミクロン株の急拡大による第6波によって、再び景気の先行きは不透明な状況となった。

当法人では、2年目の新型コロナ禍の緊張状態が続く中、3回のワクチン接種を実施し、様々な感染対策機器の設置、取り組み等を継続し、発症を想定した対応について情報を更新しながら見直した。1月に短期入所利用者1名の新型コロナウイルス感染者が発生したが、感染拡大することなく乗り切れたことは、一つの大きな成果であった。

介護人材の確保では、法人の事業存続に関わる重要課題として、大きな費用をかけリクナビ、リクナビNEXTを活用し、新卒オンライン職場説明会、インターンシップ、中途採用面接等を実施した。参加者も着実に増え人材確保のノウハウも蓄積され、結果に結び付いてきている。

職場環境の整備として、県介護ロボット導入補助金を活用しマッスルスーツを8台導入、職員からの評価も高く業務負担軽減に結び付いている。主な修繕では、軒樋及び軒天修繕、特養、デイショート浴室シャワー水回り改修工事を実施した。車両関係では、費用対効果の低いメンテナンスリースを順次見直し、より良い車両環境整備を進めている。職員の福利厚生充実では、オフィスおかん（食事提供）、パンフォー・ユー（パン提供）、レトルト食品等を活用し、24時間美味しい食事を提供できる社食「+たすカルナキッチン365」を整備した。

次年度に向けて、ここ数年の大きな課題となっていた給食委託業者の見直しを進め、日清医療食品からシダックスフードサービスへの移行を決定し、次年度のスタートに向けて準備を進めた。

公益的な取り組みについては、4月～10月に羊3頭を飼育し地域の憩いの場の提供はできたが、サロン支援はコロナ禍の影響により1回の派遣のみであった。取り組みについて、近畿老人福祉施設研究協議大会大阪大会にて動画発表したことは良い機会となった。

新型コロナ応援事業東近江圏域地域事務局として、東近江圏域新型コロナ禍会議を開催、クラスターへの対応等様々な活動を進めた。この取り組みについて、滋老協研究協議大会にて発表、研修会等でも情報提供した。

将来に向けての人材確保への投資、職場環境整備、福利厚生充実を進める中、昨年比で全般的に介護サービスの利用率が低迷しエネルギーコストの大幅な上昇もあり、収支は厳しい結果となったが、職員体制は、次世代の確保を含め近年でもっとも充実してきており、今後の飛躍につなげたい。

2. 事業別報告

【通常規模型通所介護事業】（定員：30名）

介護予防を含む一日平均利用者数は25.3名（昨年比88.4%）となり大きく減少した。

重点目標：ご利用者にとって質の高いサービスの提供、安心・安全な空間を目指す

感染症勉強会によって職員の知識、意識の向上を目指す。安心快適に過ごせるようレイアウトを変更する。

事故苦情再発防止の取り組みとヒヤリハットの見直しにより事故苦情を未然に防ぐ。

結 果：安全快適に過ごせるレイアウトは、コロナ禍の影響もあり取り組みなかった。ヒヤリハットの見直しを進め、事故・苦情については、情報を共有し再発防止できた。

【認知症対応型通所介護】（定員：12名）

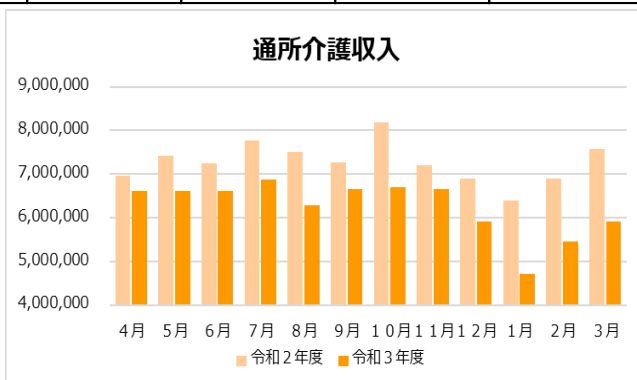
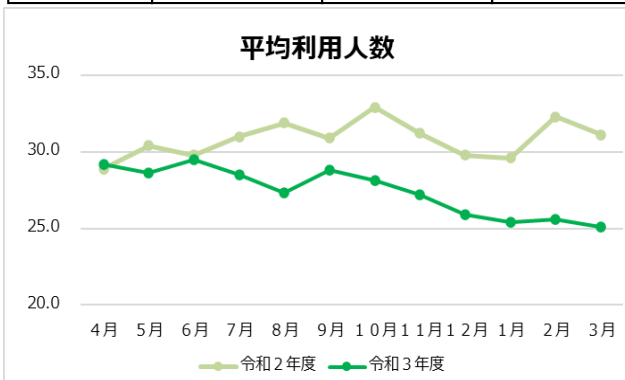
一日平均利用人数は2.2名（昨年比86.3%）となった。

重点目標：認知症ケアの向上と事故苦情の未然防止

勉強会を実施し、認知症ケアの向上を、利用人数増に結び付ける。ヒヤリハットの継続的な取り組みにより、事故苦情を未然に防ぐ。

結 果：年末あたりから利用人数が減り、減少分を補うことができなかった。ヒヤリハットについては、下半期は取り組みない時期があった。

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	通常規模	認知症対応	合計
4月	26	79	3	3.6	23.1	2.5	29.2
5月	26	84	4	3.5	22.8	2.3	28.6
6月	26	83	0	3.7	23.2	2.6	29.5
7月	27	82	1	3.6	22.9	2.0	28.5
8月	26	77	2	3.3	22.7	1.3	27.3
9月	26	80	1	3.3	23.5	2.0	28.8
10月	26	80	0	3.5	22.6	2.0	28.1
11月	27	82	2	3.3	21.9	2.0	27.2
12月	26	82	5	3.7	20.4	1.8	25.9
1月	22	79	0	4.1	20.0	1.3	25.4
2月	24	79	3	3.6	20.3	1.7	25.6
3月	27	74	1	3.0	20.5	1.6	25.1
	309	961	22	3.5	22.0	1.9	27.4



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

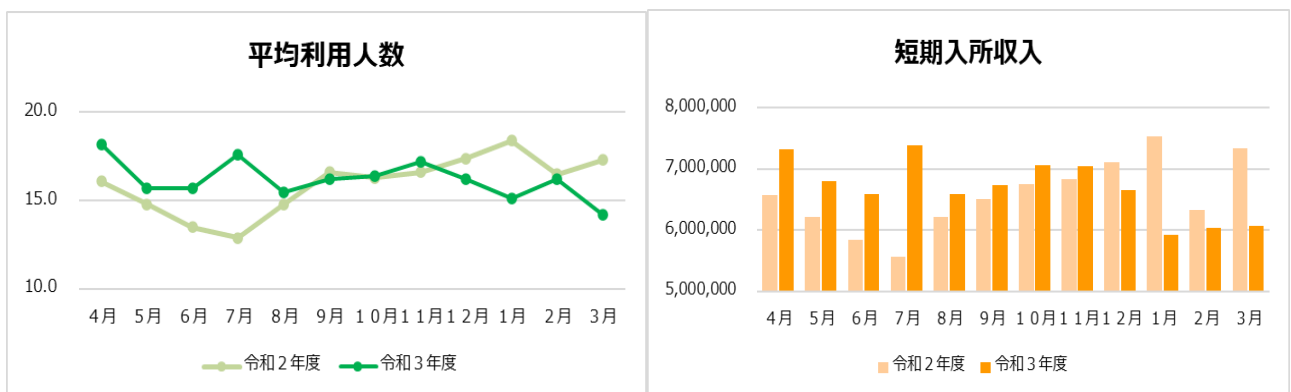
昨年に引き続きコロナ対策のため、特養との分離体制により入院ベッドの活用ができない中、緊急性の高い長期利用の方を積極的に受入れ、一日平均利用者数は、16.2名（昨年比101.8%）となった。

重点目標：介護現場の革新により介護の質(価値)を高める。

5S、3M活動による生活環境の見直しを行うことで介護の価値を高めていく。介護ロボット等と人との共存により先進的な介護を行うことで介護の質を高めていく。

結果：5S、3M活動においては、日々の取り組み、全員参加による取り組みができず、生活環境の見直しが不十分であった。新たに導入したマッスルスーツを使い、オムツ交換などの中腰姿勢での腰への負担軽減ができ、労働環境改善に役立てることが出来た。

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率 (%)
4月	3	62	18.2	113.8
5月	4	64	15.7	98.1
6月	3	62	15.7	98.1
7月	1	62	17.6	110.0
8月	8	61	15.5	96.9
9月	4	61	16.2	101.3
10月	5	66	16.4	102.5
11月	5	60	17.2	107.5
12月	2	57	16.2	101.3
1月	5	58	15.1	94.4
2月	6	57	16.2	101.3
3月	9	60	14.2	88.8
	55	730	16.2	101.3



【訪問介護事業】

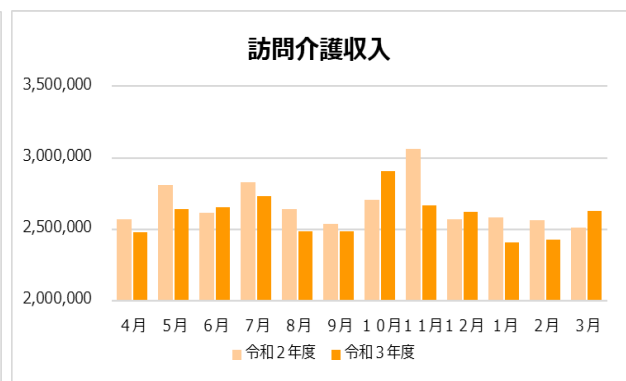
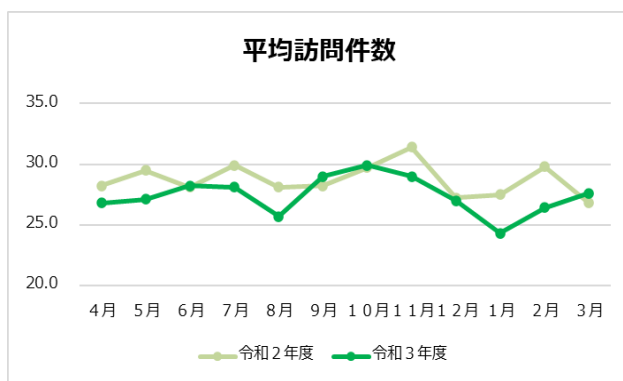
新型コロナ禍において、陽性者や濃厚接触者への訪問継続、応援事業の代替サービスに協力し、厳しい状況に柔軟に対応した。一日平均訪問件数は、27・4件（昨年比95・4％）となった。

重点目標：ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ったサービスの提供の実施

その人らしい普通の生活を安心安全に過ごしてもらうため、常にきめ細かく対応し、利用者には幸せを、介護者には負担のない介護をできるようにサービスを提供する。他の事業所、職種との連携に努める。

結 果：昨年と利用実績はあまり変わらないが、利用者の入れ替わりも激しく、1年を通じて困難事例も多く受けた。利用者及び介護者のため、急な依頼も断らずに、常に真摯に対応するように心がけた。

月	介護予防		訪問介護事業		介護予防＋訪問介護		一日平均 訪問件数
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	
4月	11	53	43	751	54	804	26.8
5月	11	57	49	784	60	841	27.1
6月	11	52	48	795	59	847	28.2
7月	10	55	46	815	56	870	28.1
8月	11	59	42	739	53	798	25.7
9月	12	67	46	802	58	869	29.0
10月	12	64	50	862	62	926	29.9
11月	12	65	42	805	54	870	29.0
12月	12	58	42	778	54	836	27.0
1月	11	60	40	694	51	754	24.3
2月	12	57	38	681	50	738	26.4
3月	13	85	45	771	58	856	27.6
	138	732	531	9277	669	10009	27.4



【居宅介護支援事業】

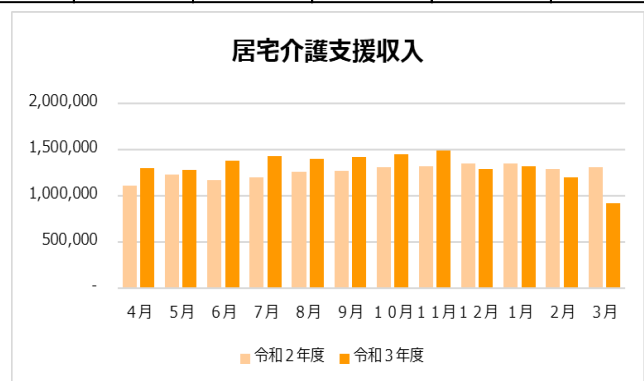
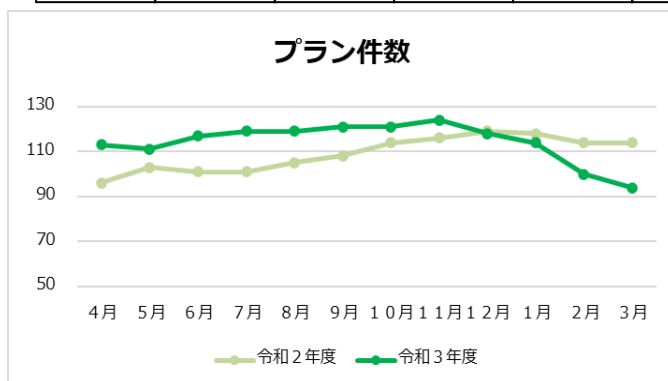
上半期に新規利用者数が順調に伸びて、ケアマネ3名の標準担当者数に迫る状況となり、平均プラン件数は109.1名（昨年比104.7%）となった。年度末の2名のケアマネ退職が影響し、新規利用者は19件（昨年比57.5%）となった。

重点目標： ケアマネジメントプロセスの基本に立ち戻り、手順通りの計画作成に努める。

ケアマネジメントプロセスの理解、ケアマネジメントプロセスに則る請求・書類整理、事業所内担当者の密な情報共有と予定の確認に努める。

結 果： ケアマネジメントプロセスに沿った書類整理を事業所内で確認し合い、整理を進めてきた。事業所内担当者の密な情報共有は毎朝の確認事項を記録にも残し徹底させた。8月に実地指導を受け、事業継続の承認を得たが、指摘事項は修正して対応していきたい。年度末に2名のケアマネが退職となったため、来年度からはケアマネの確保とともに、質を下げずに効率よく対応できる体制を作っていく。

月	新規利用	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
4月	3	3	16	20	36	19	11	5	3	113
5月	3	3	14	20	34	20	11	5	4	111
6月	3	3	17	20	35	21	10	8	3	117
7月	4	3	15	20	37	19	11	10	4	119
8月	3	3	15	20	35	20	12	9	5	119
9月	0	3	15	20	35	19	14	9	6	121
10月	2	3	16	19	38	22	14	4	5	121
11月	0	4	15	20	40	21	16	3	5	124
12月	0	4	15	19	37	21	13	4	5	118
1月	1	4	14	18	37	19	13	6	3	114
2月	0	1	11	16	33	19	11	5	4	100
3月	0	0	10	16	32	17	11	5	3	94
合計	19	34	173	228	429	237	147	73	50	1371
月平均	1.6	2.8	14.4	19.0	35.8	19.8	12.3	6.1	4.2	114.3



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

入院が顕著に増えたのは5月のみであり、平均在居者数は、50.5名（昨年比97.3%）となった。

重点目標：看取り介護体制の整備と福祉用具・ICT機器の活用

看取り介護体制は県内の大部分の施設で整備されており、未整備の施設として看取りニーズの充足の為、体制整備を推進する。計画的な福祉用具、ICT活用を負担にならないように進める。安全安心なケアを実施し、職員への負担軽減、入居者のリスク軽減、褥瘡拘縮予防を図る。

結 果：看取りについて、本格的取り組みが秋以降となり、研修の開催及び体制の骨格はできたが実施までには至らなかった。また、推進委員が中心となり、入居者個々に合った福祉用具使用や研修も実施できたが、スライディングボード及びマッスルスーツの使用率の向上まではいかなかった。眠りスキャンに関しても状況把握、事故リスク軽減につながる積極活用まで至らなかった。

令和4年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	2	2	0	2	0	2	0	1	0	2	0	11
退居	0	3	1	1	1	1	1	1	0	0	2	0	11
在籍者数	54	53	54	53	54	53	54	53	54	54	54	54	54
在居人数	50.4	44.8	49.6	51.5	51.5	51.2	50.4	52.3	51.0	50.6	51.3	51.4	50.5

入居者年齢状況

	男性	女性	全体
最高年齢	94	105	105
最低年齢	75	74	74
平均年齢	83.6	87.4	87.0

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	1	1	1.9
75～79歳	2	2	4	7.4
80～84歳	0	10	10	18.5
85～89歳	2	20	22	40.7
90～94歳	1	10	11	20.4
95～99歳	0	4	4	7.4
100歳～	0	2	2	3.7
計	5	49	54	100.0

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	52.9ヵ月	57.5ヵ月	57.1ヵ月

在居期間	男性	女性	計	構成比 (%)
1年未満	0	10	10	18.5
1年以上2年未満	0	2	2	3.7
2年以上4年未満	3	13	16	29.6
4年以上6年未満	0	10	10	18.5
6年以上8年未満	2	3	5	9.3
8年以上10年未満	0	3	3	5.6
10年以上	0	8	8	14.8
合計	5	49	54	100.0

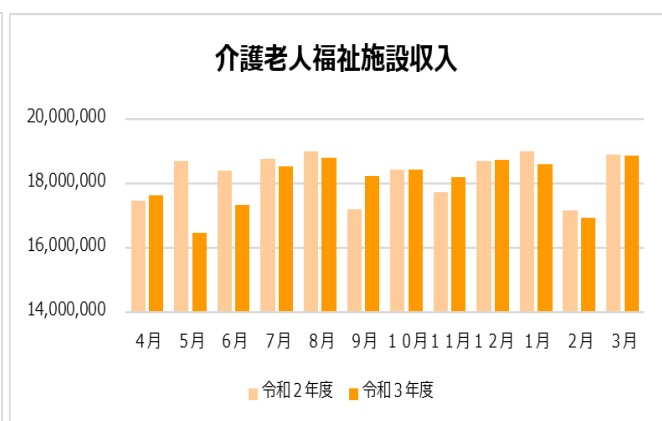
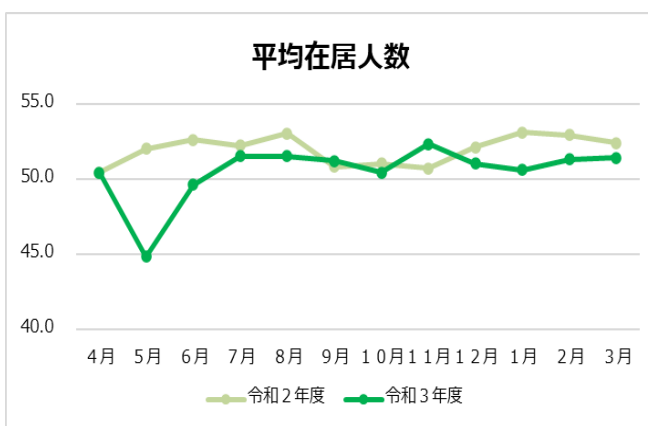
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	3	4	6	21	20	54
構成比 (%)	5.6	7.4	11.1	38.9	37.0	100.0

平均要介護度 3.94

待機者数 ※介護保険認定有効期間内の方

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	5	7	53	71	16	152
構成比 (%)	3.3	4.6	34.9	46.7	10.5	100.0



【ケアハウス事業】（定員：15名）

新規入居者5名、退居者8名であった。年度末時点で個室待機者2名（保留）、2人部屋なしとなった。

重点目標：満床確保と維持

満床の確保と維持に重点を置きつつ、重度化してきている入居者への対応の強化を図る。認知症、精神疾患のある方の理解を深め、重度化予防のためにも活気ある生活を追求する。

結果：短期間の受入れもあり、もっとも退居が多かった年度であり、月初の満床が確保出来たのは5ヶ月であった。待機者確保の為、下半期は県内広域に営業範囲を拡大し、情報発信を行った。甲賀市に対象者数名いるとの事で年内入所を目指すも来年度に持ち越しとなった。

令和4年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5
退居	0	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0	2	8
入居者数	14	14	15	15	15	15	15	14	13	14	12	12	—

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65歳～69歳	0	0	0	0.0
70歳～74歳	0	0	0	0.0
75歳～79歳	0	0	0	0.0
80歳～84歳	0	0	0	0.0
85歳～89歳	0	2	2	16.7
90歳～94歳	2	5	7	58.3
95歳～99歳	2	1	3	25.0
100歳～	0	0	0	0.0
合計	4	8	12	100.0

最高年齢 男性 97歳 女性 95歳
 最低年齢 男性 93歳 女性 85歳
 平均年齢 男性 95.3歳 女性 90.6歳 全体 92.2歳

平均入居年数

男性	5年5ヵ月	女性	5年1ヵ月	全体	5年2ヵ月
----	-------	----	-------	----	-------

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	合計
人数	1	1	3	3	4	12
構成比 (%)	8.3	8.3	25.0	25.0	33.3	100.0

3. その他事業等

【配食サービス】

営業日数310日、食数1,204食（昨年比120.5%）、1日平均3.8食であった。

【新型コロナ対策等】

4月～8月に入居者、職員の2回のワクチン接種を実施し、3月に3回目を実施した。継続して施設内の感染防止環境の整備を進め、在宅サービスと施設サービスの分離徹底、外部訪問者・家族面会の制限を実施、各種行事もほぼ中止した。1月に短期入所利用者1名の感染が発生し、通所介護、短期入所を数日間休止したが、保健所が機能しない状況の中、施設にて迅速に判断をしながら、感染拡大することなく乗り切ることができた。

【介護人材確保】

リクナビ、リクナビNEXTを活用し、2022新卒オンライン職場説明会、2023新卒インターンシップ、中途採用面接等を実施した。参加者も着実に増え人材確保のノウハウも蓄積され、年度末に2名の新規学卒の採用に結び付いた。次世代の人員も着実に確保できており、引き続き求職者との接点をつくり、職員採用に多くの職員に関わってもらいながら進めたい。

【消防・防災】

訓練を実施していなかったため消防署の指導を受け、年度末に宿直者を中心にした夜間想定訓練を実施したが、総合訓練は実施できなかった。防火設備点検は年2回実施した。

【衛生委員会】

新型コロナ禍において、産業医と施設の事情もあり開催できなかった。

【委員会活動等】

（研修教育体制チーム）会議開催数6回

法人の中長期的な取組として「若い世代が働きたい魅力的な施設」を目指し、マンガラートを活用し議論した。人材確保・定着、職場環境改善のための議論を重ねた。

（環境整備委員会）委員会開催数6回

企画部と啓発活動部の二部制とした。コロナ禍において職員交流や親睦を目的とした諸行事は開催できなかった。企画部が、誕生日ギフト、コロナ禍における就労に感謝するギフトの企画を実施し、職員の気持ちを癒す機会を提供した。社食の名前募集プロジェクトも実施し、職場の活性化につながった。啓発活動部として、感染予防、環境整備の啓発に取り組んだ。

【人事考課制度】

6月に令和2年度下半期評価、総合評価を実施し、「S」「A」「B」「C」「D」評価に応じた賞与、昇給を実施した。12月に上半期の評価を実施し、評価に応じた賞与を支給した。

【職員研修等】

外部の会議・研修に延べ129名を派遣し、オンライン会議・研修に104名が参加した。施設内全体研修はコロナ禍において、DVD視聴のみの実施とした。各事業所にて必要な勉強会、研修会を実施した。

※施設内全体研修会

実施日	テーマ	講師等	参加者数
9月21日～29日	交通安全研修	DVD	71名
11月16日～30日	ノロウイルス感染症に関する研修会	DVD	63名

【職員講師派遣及び事例発表等】

研修会への講師派遣や研究協議大会等での事例発表は、職員のレベルアップに確実に結び付いており、対外的な法人評価も高めるものとなっている。今後も積極的に取り組みたい。

日付	内容	派遣人数
7月4日	介護職員初任者研修(人権と尊厳を支える介護・自立に向けた支援)	1名
7月17日	介護職員初任者研修(介護保険)	1名
7月29日	介護支援専門員研修専門課程Ⅰ(看取り等における看護サービスの活用に関する事例)	1名
7月31日	介護支援専門員研修専門課程Ⅰ(看取り等における看護サービスの活用に関する事例)	1名
8月22日	介護職員初任者研修(生活と家事)	1名
8月24日～31日	近畿老人福祉施設研究協議大会大阪大会(オンライン)動画発表	2名
8月29日	介護職員初任者研修(整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた支援)	1名
9月2日	主任介護支援専門員更新研修「リハビリ」	1名
9月8日	主任介護支援専門員更新研修「看取り」	1名
9月14日	主任介護支援専門員更新研修「認知症」	1名
9月17日	介護分野で働く滋賀の福祉人育成研修(新任期)「先輩職員交流」	1名
10月5日	主任介護支援専門員更新研修「家族への支援」	1名
10月9日	介護職員初任者研修(介護課程の基礎的理解・総合生活支援技術演習①)	1名
10月10日	介護職員初任者研修(総合生活支援技術演習②③④)	1名
10月11日	主任介護支援専門員更新研修「社会資源」	1名
11月8日	主任介護支援専門員更新研修「看取り」	1名
11月18日	滋賀県老人福祉施設協議会研究協議大会	1名
11月20日	外国人介護職員養成研修(介護保険)	1名
12月22日	彦愛犬新型コロナウイルス感染症研修会	1名
1月14日	滋賀県POS連絡協議会人材育成事業研修会コメンテーター	1名
1月15日	介護支援専門員実務研修「ケアマネジメントのプロセス」	1名
1月22日	介護支援専門員実務研修ファシリテーター	1名
1月29日	介護支援専門員実務研修ファシリテーター	1名
1月29日	介護支援専門員実務研修「居宅サービス計画等の作成」	1名
1月30日	介護支援専門員実務研修ファシリテーター	1名

【新型コロナ発生時の応援事業への参画】

昨年に引き続き、新型コロナ発生時応援事業の東近江地域事務局を務め、9回のコロナ禍会議（保健所、二市二町担当課、東近江介護サービス協役員）を継続して実施し、研修会を1回実施した。圏域で発生した施設クラスターにも、サービス継続支援会議を4回開催し対応した。

【実習生、ボランティア受け入れ】

コロナ禍において、実習生の受け入れはなく、ボランティアも建部日赤奉仕団の除草作業のみの受け入れに止めた。

【地域の公益的な取り組み】

社会福祉法人として、もっとも大切なテーマである地域の公益的な取組については、年間を通じて積極的に取り組んだ。

日付	内容	参加者数
4月26日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
4月27日～10月13日	羊の飼育とふれあい広場の提供	—
5月13日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
5月26日	第70回たてべ福祉を語る場	1名
6月15日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
6月17日	第1回東近江圏域権利擁護にかかる検討会	1名
7月13日	第71回たてべ福祉を語る場	1名
7月14日	東近江市福祉法人ネットワーク会議打合せ	1名
7月16日	竹鼻サロン支援	4名
7月20日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
7月26日	第2回東近江市介護福祉人材連携確保会議	1名
7月30日	第2回福祉法人ネットワーク会議	1名
9月13日	第3回東近江市介護福祉人材連携確保会議	1名
9月21日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
9月21日	第72回たてべ福祉を語る場	1名
10月1日	東近江市福祉法人ネットワーク会議MT	1名
10月19日	ふく・楽カフェ@日野高校	2名
11月16日	第73回たてべ福祉を語る場	1名
12月16日	建部の地域づくりを考える会	1名
12月21日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
1月11日	第74回たてべ福祉を語る場	1名
3月10日	第75回たてべ福祉を語る場	1名
3月10日	東近江市福祉法人ネットワーク会議コア会議	1名
3月18日	第4回東近江市介護福祉人材連携確保会議	1名

4. 年間行事等

4月	21日第1回経営会議	10月	11日職員健康診断・ストレスチェック 20日、27日インフルエンザ予防接種 20日第7回経営会議 28日入居者健康診断
5月	19日第2回経営会議 13日消防設備機器点検①	11月	17日第8回経営会議 第1回地域密着型介護運営推進会議(書面)
6月	1日監事監査 1日第1回理事会 16日第3回経営会議 16日R2年度下半期・総合評価者会議 18日第1回評議員会 18日第2回理事会	12月	6日R3年度上半期評価者会議 15日第9回経営会議
7月	21日第4回経営会議	1月	1日年賀式 19日第10回経営会議 31日消防設備機器点検②
8月	18日第5回経営会議 24～31日近老協オンライン大阪大会参加	2月	16日第11回経営会議
9月	15日第6回経営会議	3月	2日第3回理事会 15日夜勤者健康診断 16日第12回経営会議 28日第4回理事会 第2回地域密着型介護運営推進会議(書面) 30,31日夜間想定訓練